

参加者、

秋元、浅田、伊東、島崎、田中、鳥飼、
中島(邦雄、誠)、安田、山岡、吉村、

Jul 6, '99

BMW RS Club

かわらばん

海のイメージの千葉県で

緑の中を走り回った一日

かわらばん-中島邦雄 挿絵-小倉玲子

華麗な花蔓陀羅(はなまんだら)の世界を演出していたツツジが終ると、紫陽花(アサイ)やカキツバタそして花菖蒲が、その出番を待っていたかのように、次々と花開き始めました。山では豊満な感じで石楠花(シャケナゲ)が見事な花を付け、関東地方にはいよいよ今年も梅雨入り宣言が出されました。

今月14日は「螢火におぼるるごとし桜桃忌」と詠まれている太宰治の桜桃忌。さらに月が替わると芥川龍之介の「河童忌」と続き、梅雨から本格的な夏へ向かう日々となりました。

暑さも寒さも我々バイク乗りには切ない限りですが、季節の変化を目で肌で、そして心でじかに感じられるからこそ、四季の移ろいの素晴らしさを、人一倍鮮烈に味わえるのかも知れません。

さて今回は我がクラブには珍しく、千葉方面へのツーリングとなりました。集合地が「湾岸幕張」というのも珍しいケースで、成田へ向かうエアポート・バスや観光バスと一緒に走って、結構混みあう「首都高速湾岸幕張PA」に集結しました。時間までに11台が顔を揃え、すぐに姉崎へ向けて出発です。晴天ながら風が無く、ややガスがかかったような感じの朝でした。穏やかな朝のせいでしょうか、皆さんも120キロ位でユッタリと走っています。

観光地へ向かう車で混んでいた道路も「館山自動車道」に入る頃には空いてきて、無線を飛ばしてバカを言い合い、青空の下を気持ち良く走りました。ガス補給に高速を降りた安田さんも追い付いてきました。

さてさて高速を降りると次々と鳥飼さんから無線が飛び、右に左に道が変わり、我々が何処に居るのか全く掴めない感じとなりました。そんな中で「かずさアカデミアパーク」という大きな造成地に入りました。ここはバブルの全盛期に、研究施設を誘致するために造られたそうですが、バブルが弾けて空き地が広がり、さしつめ「ツワモノドモが夢の跡」という感じになっていました。モトクロスの練習には向いているかも知れません。

やがて道が狭まると左右に木々が茂り、続いて青々とした見事な孟宗竹の中を走ります。タケノコから若竹に変わったばかりの、艶やかな肌色の竹が目につきました。鳥飼さんの話では、久留里の辺りは竹細工が有名とか。

そして千葉にもこんなに沢山の田圃が有るかと思える程に、何処までも早苗の植わった田が広がり始めました。

富津方面へ、さらに鴨川方面へとサインが次々に変わり、やがて入り口に大きな酒玉の下がった「酒匠の館、ソムリエハウス」という処に着きました。観光バスが乗り付け、ズラリと並んだ酒の試飲コーナーが有りました。

ここは「南総里見八犬伝」で名高い処ですので、「八犬伝」というのや、五年ものという老酒(テオチュウ)のような物もありました。酒好きの安田さんが試しても「ちょっと癖が強すぎる」そうでした。

調子良く勧める爺さんが居て、テッキリ店のオヤジかと思ったら、観光客の一人で飲み過ぎて足をとられ、仲間に抱えられてバスに乗せられていきました。

千葉と聞くと混み合う海岸線を連想しますが、緑の多い車の走らぬ山の中の見事な道が続き、あたかも山岳地帯を走っているかのようです。実に心の和む思いで誰もが「素晴らしいね~」と感心するばかりの、そんな見事なコースでした。林の中から鳶のさえずりも聞こえてきて、とてもユッタリとしたのどかでおおらかな気分になりました。

11時半を回った頃に館山に入りました。「昼飯は何か?」と思ったら、鳥飼さんが我々を連れて行ってくれた処は、「スーパー回転ずし・やまと」というお店。「ここまで来て回転ずしかい」と思いましたが、バスで来た客もいるような処で、テレビ等でも紹介されているとか。それにしても大きな店です。

生けすには座布団のようなヒラメや鰯が泳ぎ、グルグル回る寿司の中で、感じのいい板さんが次々と注文を受け、アナゴをあぶりアジを造りながら握ってゆきます。すすめ上手でついつい変わった物に手が伸びます。

乾いた喉に生ビールが吸い込まれるように入り、見事な中トロやアオリイカをほおばりご機嫌です。マンボーの握りや房総名物の大きな岩ガキも有り、それを目の前で開き、レモンを垂らして食べたら、一杯の箸の生ビールのピッチが上がりてしまいました。鴨川で朝方に上がったというアジが、安くて一番の味わいでした。

しこたま食べて爽やかな店内から外に出ると、まさに真夏の日差しが待っていました。

ここから秋元さんがフェリーだかアクアラインで帰ると、一足先に帰りました。館山の街中には椰子やソテツが道路わきに植わり、マクドナルドやフライドチキンの英語の看板を見ていると、なにかロスアンゼルスの郊外にでも居るような錯覚におちいりました。車も人も少なくて、そんなところも良く似ていました。

すこし走って「酪農の里」という、如何にも牧場という感じの処へ休憩に入りました。緑の丘の中腹ではヤギがのどかに草をはみ、鳶がさえずって童話の世界に入ったかのようです。旨いアイスクリームを食べ、搾りたての牛乳に大満足。

さらに走って今度は田圃の中に入りました。

鳥飼さんが大好きなパン屋が有るからとの事でしたが、我々はパン屋に素敵なお人が居のだと思いながら、彼に付いて、その店に行きました。近くの田圃ではオタマジャクシが泳ぎ、鳶もさえずって、何か場違いの感じさえしましたが、素敵な店中に、旨そうなパンの香りが漂い、皆でなにがしかのお土産を買いました。近くの



お婆さんが買い物に来て「こんなに見事な

バイクは300万か400万円かね~」いや、は

や良い目の保養をしたよ」と調子の

いい事を言われて、皆さんニヤ

ニヤしていましたったけ。

さらに走って小さなスタンドに

みる ガス補給に入りました。何人かがハ

イオクを入れて、安田さんの番になっ

ら品切れとか。皆で大笑いをしました。

習志野北から高速に入れ帰途に就きました。

千葉なんかつまらないだろうと思っていましたが(鳥飼さん、スマセ!)、実に充実した素晴らしいツーリングの一日でした。

参加者一同、本当に心より楽しみ、鳥飼さんのご努力に心より感謝しております。

次回は夏休み前の最後のツーリングに蓼科方面へ行きます。奮ってご参加下さいね。